

## 11月ご投稿について

11月に住民の方から、匿名のご投稿をちはら台地区連合会宛に戴きました。とても美しい筆跡で、ご丁寧な内容でした。以下に抄録を記し、連合会としての思いと取り組みについて説明申し上げます。

まずは自治会活動へのご理解と、この街の自然が身近にあることに触れられ、具体的なご提言が2点挙げられています。

1. ちはら台にこの時季になると大量に散見される、落ち葉の活用の方策がないか。
2. かずさの道の樹木に名札を取り付け、子供たちや桜の季節などにこの街を訪れる方々も含めて、季節ごとに姿を変えていく木々の風情に関心を持っていただけたら良い。

11月27日の連合会役員会で上記について話し合いました。

まず落ち葉については、個人レベルで持ち帰る方が何人かいらっしゃいますが、主な利用は堆肥ということで、それ以外の使い道はかなり難しそうです。ごみとして捨てられることに、心が痛むと表現されて、同じ気持ちではありますが、他の使用法については、本文をご覧になった方にも伺えればと考えます。

樹々の名札については、ちはら台が整備され始めの頃には、かずさの道や、花咲通りに確かに「ひがん桜」「マロニエ」「みやまきりしま」等の名札が木々に取り付けられていました。経年劣化によりほとんどが無くなってきたのでしょうか。参考として地域新聞の記事に「NPO法人リトカル」による樹名板掲示があることを、ご紹介戴きました。

自治会連合として個別に樹木版を作成し、取り付けることに関しましては、費用や人手が発生することも事実であります。実際道の名前の看板を作成取り付けの際にも、市との折衝、看板の作成、取り付けのボランティア活動と多大の費用・労力が発生しています。

とりあえずかずさの道や、花咲通りなどの遊歩道を管轄している市の道路維持課に相談して今後の対応を協議していきます。

ご投稿いただいた方も含め、上記NPO法人に個人で参加され、取り組むこともご検討戴ければと思います。

ご投稿、ありがとうございます。尚、個人名を連合として公にすることは致しませんので、なるべく匿名でない方が、事後のご相談なども含めて有意義だと思っておりますので、今後ご投稿される方もご検討ください。